

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 b		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>現代社会において、さまざまな課題を抱え、支援を求めている人々に対して、ソーシャルワーク実践を展開するために必要不可欠な理論と方法を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>本講は、人と環境の交互作用に関する理論、ソーシャルワークの過程、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチなど、ソーシャルワーカーとして実践に携わるうえで求められるさまざまな知識と技術的基盤について対面授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後フィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	<p>ソーシャルワークの理論と方法をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、重要な内容についての概要を整理し、分かりにくい専門用語については、下調べするなどの予習を行ったうえで講義を受けることが望ましい。</p>				
教科書	<p>最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目] /一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版。必要に応じてプリントを配布する。</p>				
参考書	<p>特になし。</p>				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ソーシャルワークの意義、構造と機能について理解し、説明できる。		HSU(1)、HSU(3)、WP(1)、WP(2)		
②	対人援助技術としてのソーシャルワークの基礎的な技術を習得できる。		HSU(3)、HSU(4)、WP(5)		
③	ソーシャルワークの面接・記録方法について理解し、基礎的技術を習得できる。		WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)		
④	ケアマネジメントの過程を理解し、説明できる。		WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)		
⑤	グループを活用した支援の過程を理解し、説明できる。		WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)		
⑥	コミュニティワークはじめその他の理論と方法を理解し、説明できる。		WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価他) を行う。 ソーシャルワークの過程についてのフィードバックを行う。	講義	シラバスを読んで全体像を把握してくる	4	
2	ソーシャルワークの面接①について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
3	ソーシャルワークの面接②について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
4	ソーシャルワークの記録①について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
5	ソーシャルワークの記録②について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
6	ケアマネジメント①について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
7	ケアマネジメント②について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
8	グループを活用した支援①について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
9	グループを活用した支援②について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
10	コミュニティワーク①について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
11	コミュニティワーク②について学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
12	ソーシャルアドミニストレーションについて学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
13	ソーシャルアクションについて学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
14	スーパービジョンとコンサルテーションについて学習する。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
15	全体のフィードバックを行う。	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑥について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。出題方法として、○×式、並びに記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～⑥に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。			試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらうリアクションペーパーをもとに評価する。			前回のリアクションペーパーを使い振り返りを実施する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
<p>実践的授業の内容： 学生が身近に感じている福祉を共有しながら、教科書に記載されている一般的事項を確認する。社会福祉士としての教員自身の事例を示し、専門家が提供する福祉と地域住民が求める福祉に関する認識の違いについて学習する。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>全 15 回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p>							